

2007 年度海外留学プログラム 参加者アンケート

このアンケートに記載された情報は衣笠国際センター・BKC国際センターにて管理をし、今後のプログラム改善の参考にします。

また、前半4ページは、プログラムに関する情報提供に利用します。以上の目的以外には使用せず、成績評価にも影響しません。

プログラム： グラナダ大学プログラム 派遣先大学/機関 グラナダ大学

公開しても差し支えなければ、以下に氏名、学部、連絡先、回生、性別を記入してください。

氏名： _____ 政策科 学部/研究科 政策科学科

E-mail： _____ 2 回生 男・ 女

* 以下、回答は、該当するものに 印をつけ、記述はできるだけ具体的に記入してください。

1. 現地での講義について

内容・レベル、使用教材、テストについて：

内容はとても興味深く、講師は質問にも丁寧に応じ分かるまで何度も説明しようとしてくれた。テストは全くなくストレスはなかった。特に言語の講義は初心者にも分かる基本的な内容で、講師が面白く教えてくれたので大変有意義だった。政治などの専門的な授業は理解するのに困難だったが質問を繰り返し学生同士で共有することで解決できた。全体を通して大変意欲のわく講義だったのでコマ数をもう少し増やしてもよかった。

クラス数と受講人数（クラス分け方法） 本学以外の学生の参加：

6人という少ない人数だったので質問がしやすく、現地学生との交流や講師とのコミュニケーションも十分に取れた。現地学生とは毎週セミナーという授業でディスカッションをしたり映画を見たりして今回1番刺激を受けた事のひとつになった。セミナーのあとは決まって皆でバルへ行き、飲みながらしゃべり充実した時間をすごした。

コメントと次年度参加者へのアドバイス：

分からないところは絶対うやむやにせずその場で質問しまくることが大事。また、スペイン語の辞書は必須。

現地研修語によるレポート・プレゼンテーションなど

取り組んだテーマ：

特になし

事前準備・現地でのリサーチ方法：

特になし

コメントと次年度参加者へのアドバイス：

特になし

2. フィールドトリップについて

行き先・行程について

マラガ...日帰り、長距離バス利用

マドリッド・トレド...3泊4日、長距離バス利用、格安ホテルを自分達で探しスタッフの手助けで予約

行き先・交通手段については渡航前に調査済み。

フィールドトリップについてのコメントと次年度参加者へのアドバイス（携行品等）：

宿を探すのに大変苦労したので、行きたいところがあるならできるだけ早い段階で探し出すべきです。また、今回時間がなくて行きたかったバルセロナにいけないということがありました。行きたいところには優先順位をつけて行動すべきだったと感じています。携行品について特筆すべきことはパスポートについて！ホテルに泊まる際パスポートを持っていなかったらチェックインできない場合があるので気をつけてください。

3. 現地の環境について

現地キャンパスについて

自習環境について

夜9時まで学校が開いていて教室が整っていて勉強しやすかった。また、質問できるスタッフも近くにいて毎回親切に答えてくれた。PCが使えるのは午後4時からであったが十分だった。ただ3時～4時の間は学校が閉まっているので注意が必要。

その他の施設・設備についてコメントと次年度参加者へのアドバイス：

学校内は教室・トイレ等全て清潔で過ごしやすかった。学校の近くには本屋が多くインターネットカフェもあるので特に不自由することはなかった。給水機が学校内にあるので水を買う必要はほとんどなかった。

住居について（当てはまるものに○）

- ・寮 or ホームステイ or その他（ ）
- ・食事は？： 自炊 or 食堂 or 外食 or その他（ホームステイ先 ）
- ・食費は？： プログラム費用に含む（95食程度） or 別途実費負担（15食程度）

- ・寝室は？： a. 1人部屋 b. 相部屋（2名でシェア） ルームメイトは 立命館生 or 現地学生 or その他
- ・共有施設は？： a. キッチン b. トイレ c. シャワー d. 無し（すべて自分/ルームメイト専用）
- ・洗濯は？： ランドリー 有 or 無 洗濯機の使用 可 or 不可 or 洗濯してくれた
- ・家族構成 or 寮の住人の構成は？： 父・母・高校生の娘・中学生の息子・ルームメイト・自分
- ・寮 or ホームステイについてのコメントと次年度参加者へのアドバイス：

ホームステイをするからには積極的に家族と関わるべき。しゃべればしゃべるほど言語は上達し、質問することによって微妙なニュアンスの違いや文化などを理解できるので、自信の有無にかかわらず自分からしゃべりかける事が重要と感じた。また家族に料理を振舞う機会があれば、お好み焼きや散らし寿司は簡単で受けが良いのでおすすめ。

<2 箇所に滞りがあった場合は、上欄と同じ内容を他の箇所に記入>

パソコン・インターネット環境について（当てはまるものに ）

- ・パソコン利用場所は？： 大学（約3～4台あり） or ホームステイ先・寮 or その他（ ）
- ・ノートパソコンを日本から持参しましたか？： 持参した or 持参しなかった
- ・インターネットへのアクセスは？： 自室から可能 or 一定の場所から可能（ホームステイ先・大学 ）or 不可能
- ・日本語ソフトは？： 読める or 入力できる or 読み・入力ともに可能 or どちらも不可能

その他気付いた点と次年度参加者へのアドバイス：

パソコンを利用できるのは午後4時以降だったが問題はなかった。今回は人数が少なかったので学校のパソコン台数は十分だった。各家庭にもパソコンがある場合が多いので特に持っていく必要はないと感じた。

4. 現地学生・スタッフとの交流イベント等について

内容：毎週水曜日にSEMINERというディスカッションの授業があった。また、課外ではディスカッションの後現地学生やスタッフとバルに行ったり、休日に教授の家で過ごしたり現地学生の下宿先でパーティーをしたりした。

次年度参加者へのアドバイス（あらかじめ用意したほうがよいもの、服装・靴など）：SEMINERでは日本についての知識がなくとも恥ずかしい思いをしたし、英語での表現に苦労した。せめて日本で話題になっているトピックスには新聞を読むなどして普段から目を向けておくべき。電子辞書が早く引けるので役立ったので持って行くといい。服装で特に困ることはなかったがスニーカーやサンダルだと入れてもらえない店もあるので注意。また日本食の食材を多めに持って行くとパーティーで役立つ。

5. 事前学習について

事前に学習しておいてよかったこと

アルハンブラ宮殿やグラナダについてのDVDを観ていたのが現地ですべてのものを観て楽しむことができた。また、世界史を勉強していたのでより歴史や美術、思想を理解しやすかった。

事前に学習しておけばよかったと思うこと

キリスト教やイスラーム教などの宗教について勉強していればもっと深く文化や芸術を理解することができたのではと感じた。また、授業で扱われるイラク戦争・イスラーム世界についての時事トピックスは事前に学習していなかったのが理解に苦労した。何よりも日本文化や日本の政治について知っているほど知らない事が多く、恥ずかしい思いをしたのでせめて話題になっている時事や基本的な憲法については勉強していけばよかった。

6. その他

今回のプログラム費用以外に、現地で使った費用はいくら位ですか？

約 _____ 円 または 現地通貨で €455.00 _____ くらい

持参したお金：7万円相当＋クレジット（十分だった or 不十分だった）

主にお金はどのように持参しましたか？（複数回答可）

- a. 現金 b.トラベラーズチェック c.クレジットカードを利用 d. 国際キャッシュカードを利用
e.その他（ ）

お金・現地物価についてのコメント

あるホテルの予約ではクレジットが必要だったので持って行って役立った。日本で最初に 3 万程度換金し、現地の citibank で 4 万程度換金したが特に問題はなかった。

持参したほうが良いもの、不要なものがあれば教えてください。

必要なもの

ガイドブック・電子辞書・スペイン語辞書・指差し会話帳・ポケットティッシュ・ぬれティッシュ・小さめのバスタオル(他都市に宿泊の際必要)・はさみ・ソーイングセット・時計・マスク(機内やバスでの乾燥予防)・胃薬・カメラ・充電器・日本食の食材・レターセット・海外用の財布・リュックサックなど

不要なもの

パソコン・海外用携帯電話・ノート(学校で配られたので)・マフラー

実際にプログラムを体験しての全体の感想や、来年度参加者へのアドバイス、メッセージ等記入してください。

今回プログラムに参加して大変有意義な時間をすごすことができました。現地の町並み、人々の生活、芸術を実際目にするだけでも感じることは多く、現地人と話をすればまた違った面が見え、今までよりも確実に視野が広がりました。スペインは他国からの移民や観光客が多くスペイン人だけではなくモロッコ系やアラブ系やアフリカ系、ヨーロッパ内の外国人や中国人、ロマ系の人々などが多く存在する国です。その中でスペイン人の移民に対する見方やお互いの関係を知ることによって国際関係や国という概念について考える機会が多くなりました。また、日本とは違う環境で生活することによってスペインのことはもちろん自分は日本人だと意識し日本の事を今までよりも考えるようになりました。関わった現地大学生はとても勉強熱心でたくさんの刺激を受けることができ、現地授業も興味深いものばかりで丁寧に質問に答えてくれたので今後に意欲がわきました。特に言語は家族との生活やディスカッションや買い物などの会話を通してとても重要なものであると改めて気づかされました。自分の気持ちを伝えることが多言語ならもちろん母語であってもいかに難しいかを思い知り本当にいい経験ができました。現地では家族やスタッフや現地学生達、また同行した友達のおかげで大変楽しい時間を過ごすことができ満足しています。行く前と帰ってきてからは進路についても世界が広がり価値観が少し変わりました。現在も家族やスタッフと連絡を取り続けており、本当に参加してよかったと感じています。来年参加する人も物怖じせずどんどん色んなものを見て感じてください。話しかけて質問してください。

今後、募集説明会や事前ガイダンス、留学フェアなどを行う場合に、協力(体験談を話してもらうなど)をお願いする際、協力をお願いできますか。

協力してもよい (場合による) 協力できない

7 . 写真提供のお願い

プログラム紹介のための写真の提供をお願いします。写真をこのページに添付するか、データを持参して衣笠国際センター・BKC国際センター窓口に申し出てください。

ご協力ありがとうございました。記入済みアンケート用紙は、2007年9月28日(金)までに、衣笠国際センター・BKC国際センター窓口の専用回収箱に入れてください。立命館大学衣笠国際センター・BKC国際センター